

『津軽民謡と岩木山』

加賀谷 昭男さん (千葉県市原市在住)



△韓国旅行へ行ったとき、板門店で韓国兵と記念の一枚

くない」と一大決心をして、ふるさと鶴田町を後に自衛隊に入隊しました。

それから二年後、除隊し兄のいる川崎製鉄所の千葉工場に入社し十七年間勤務しました。その間に結婚をし夫婦二人で頑張り、小さいながらも楽しいわが家を立て、念願の男の子も誕生しました。「大五郎」と命名し、幸せに暮らしていました。しかし、大好きなふるさと鶴田

町を忘れることができず家を売り払い、一度田舎に帰りましたが田舎はそんなに甘くはなかった。

再び千葉へ戻り川崎製鉄所時代にアルバイトで覚えた外構工事を始めました。今までスコップやブ

ロックなどを持ったことのない妻にも手伝ってもらい、何とか自分の会社を設立することができました。しかし数年後、妻は乳がんにもうしばまれ帰らぬ人となりました。そんな時、今は亡き長兄をはじめめ兄弟みんなが助けてくれました。特に団地時代の友人たちの励

ましには本当に助けられました。また、長男の大五郎がわたしの仕事を手伝いながら、暑い日も寒い日も毎日専門学校に通い、建築士の資格を取得してくれた事には、ただ頭が下がる思いです。そして今は社長を長男に譲り、体調を気にしながら孫に囲まれ幸せな日々を過ごしています。

田舎に帰る途中鶴寿橋を渡ると岩木山はいつもきれいな顔をしてわたしを迎えてくれます。弘前にある「山唄」という居酒屋で、三味線と民謡を思いっきり楽しもうと兄弟を誘ってよく行ったりもします。「鳴き声の長きも悪しきも親鳥の教えによるぞ数のウグイス」来年も中野サンクラブで逢いませう。

集うらばなし

九月下旬に、鶴東館に、新しい「屋根付き足湯」ができ、早速取材へ行ってきました。壁はスギ、床はヒノキ、浴槽はイチョウの木を使用しているというところで、室内には心地よい木の香りが漂っていました。写真だけ撮って帰るのもなんなので、その日取材に来ていた東奥日報と陸奥新報の記者さん(二人とも女性)と一緒に、ちゃっかり「足湯」に浸かってきました。お湯の温度は四〇度でした。少し肌寒くなってきたこの季節、心も体もポカポカしてとても気持ち良かったですよ。一年中利用できるの、皆さんも一度お試しください。(江)

戸籍の窓

(9月30日現在：敬称略)

□お誕生おめでとう

町名	氏名	保護者
寺町	宮本穂乃香	(真吾)
瀬良沢	高橋来玖	(寿仁)
妙堂崎	佐々木芭葉	(智寿)
大巻	福井魁	(盛正)
みどり町	工藤夢斗	(隆)
相原町	神篤朗	(大輔)
菖蒲川	佐藤仁	(健二)

□ご結婚おめでとう

町名	氏名	氏名
(大性市)	(小笠原伸泰)	(張間香織)
(胡桃館弘前市)	(伊藤陽肇)	(木村香織)
(田中町亀田)	(福士博史)	(齋藤公子)

■ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
廻堰	齋藤 ソト	95
派立	秋庭きみゑ	80
菖蒲川	金田 清	87
妙堂崎	鎌田 イマ	86
沖	菊地 ふみ	77
瀬良沢	佐々木みよ	94
寺町	石戸谷 徳	93
横菴	花田 謙作	91
妙堂崎	奥瀬喜代治	76
大巻	笹森他喜夫	86
相原町	太田 佑三	62
横菴	長内 正造	88

(人の動き)

9月30日現在 (前月比)
 人口 15,290人 (+9人)
 男 7,184人 (+5人)
 女 8,106人 (+4人)
 世帯 5,061 (+7)

出生7人 転入35人
 婚姻4組 転出16人
 死亡17人



(この欄に載せたくない方は、届ける時に窓口係へ申し出てください)